

京都丹波トライアスロン大会 in 南丹 (2022 年版)

ローカルルール

2022 年 8 月 2 日更新

1. 【大会全般】

(1) JTU 競技規則、京都丹波トライアスロンローカルルールを適応する。

http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf

(2) 計測は自動計測（アンクルバンド）です。

レースナンバーの確認と、紛失しないよう十分に管理すること。

(3) 大会期間中はリストバンドを手首に装着しておくこと。

(4) 競技ルール及びコースについては大会ホームページにて各自で確認し本番に備えること。

(5) バイクコース試走時は必ずヘルメットを着用し、道路交通法を遵守の上走行すること。

レース中の Bluetooth 等のデバイス、イヤホン、ヘッドセットは使用禁止。

また競技に直接関係ないものを競技内に持ち込むことはできない。

(例：アクションカメラ（バイク取付け用、ヘルメット取付け用ともに）

※トランジションエリア入口にて指導する。

2. 【スイム】

(1) 競技スケジュールを確認し、スイムウォーミングアップからスタートまで十分余裕をもち準備すること。

(2) ウォーミングアップ（試泳）

①コース

・スタンダード・スタンダードリレー及びスーパースプリント・スーパースプリントリレーは、スタンダードのスタート地点から下流約 125m の往復コース（反時計回り）とする。

・スプリントは、スプリントのスタート地点から下流約 100m の往復コース（反時計回り）とする。

②ウォーミングアップ（試泳）は当日の決められた時間のみとする。

(3) 招集・スタート地点は各カテゴリで異なる為、スイムコース図を確認すること。

(4) ローリングスタート方式

①スイム待機エリアで男女/年齢関係なく 5 名ずつ列を作り、先頭はスタート待機ラインで待機する。

②スタートの合図により、先頭 5 名から 5 秒間隔で順にスタートする。

③対象はスタンダード・スタンダードリレーとする。

※スーパースプリント・スーパースプリントリレー、スプリントは一斉スタート

(5) スイム特有の下記行為はペナルティ又は失格の対象とする。

①故意に他の選手の体の乗りあげや迷惑行為

②競技中のウエットスーツ、キャップの脱ぎ捨て行為

③監視艇、コースロープを利用した移動行為

※但し、危険回避等等でのコースロープ、コースブイ及び監視艇につかまり小休憩は構わない。

(6) スイム装着物について

①ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍計の装着を認める、

②スイムキャップは支給されたものを使用すること。スイムキャップを 2 重に被る場合は支給されたスイムキャップを表に装着すること。

③ウエットスーツの着用について、下表を遵守すること。

水温	スタンダード・スタンダードリレー スーパースプリント・スタンダードリレー	スプリント
	20℃以上	推奨
18℃以上	推奨	
18℃未満	必須	

3. 【トランジションエリア】

- (1) 選手、大会スタッフ以外のトランジションエリア立ち入りは禁止とする。
- (2) トランジションエリアでは支給されたトランジションバックにて持物の管理をすること。
 - ① トランジションバックに入らない物及び競技に関係ない物(クーラーボックス等)は持込み禁止とする。
 - ② T0(審判員)が発見した場合はこれを撤去する。
- (3) トランジションエリア・セッティング時間を確認すること。
- (4) バイクピックアップは12:15~14:00とする。
 - ① バイクピックアップ時はリストバンドとバイクのレースナンバーを照合し、引き渡しを行う。
 - ② バイクピックアップ時間以外のピックアップは認めない。
但し、選手本人が時間内にピックアップできない場合は、代理人によるピックアップを認める。
その際、代理人は身分証と選手のリストバンドを持参すること。

4. 【バイク】

(1) 共通項目

- ① J T U競技規則内「第8章 バイク(自転車)第1節 バイク共通事項を基本とし、ローカルルールを優先する。
- ② 走行における注意事項
 - 1) キープレフトを守り、安全な速度で走行する。
 - 2) 各コーナー及び折返しは、追い越し禁止とする。危険回避以外で追越しをした選手はペナルティもしくは、極めて危険な行為(センターラインオーバー等)は失格とする。
 - 3) 緊急車両走行時はT0の指示に従い減速及び左側徐行、または停止すること。
- ③ バイク及びバイク装備について
 - 1) 競技に使用するバイク(自転車)はロードレーサーの使用を基本とする。
※「ロードレーサー」とはドロップハンドル型で高速走行性能を優先された自転車を指す。
 - 2) サイクルコンピュータの装着を推奨する。
 - 3) 携帯電話の携帯は禁止とする。但しサイクルコンピュータとして使用する場合はバイク専用アタッチで固定すること。競技中に動画撮影や他者との交信があった場合は失格とする。
 - 4) ライト、テールランプ、泥除け、スタンド及び買い物かごなどの突起物は取り外すこと。
 - 5) ペットボトルをバイクボトルとして使用する場合は、飲み口をバイクボトルと同じ構造とし、かつボトルゲージがペットボトル専用のもを使用すること。
 - 6) スペアタイヤ、携帯空気入れの携帯を推奨する。
 - 7) 競技中のBluetooth等のデバイス、イヤホン、ヘッドセットの使用は禁止とする。

(2) スタンダード・スーパースプリント及びリレー（ドラフティング禁止レース）

① J T U 競技規則内の「第 8 章 バイク（自転車）第 3 節ドラフティング禁止レース」を基本としローカルルールを優先する。

② スーパースプリント及びスーパースプリントリレーはマウンテンバイクやシティサイクルの出場を許可する。但し、ライト、テールランプ、泥除け、スタンド及び買い物かごの装着は禁止とする。

(3) スプリント（ドラフティング許可レース）

① J T U 競技規則内の「第 8 章 バイク（自転車）第 4 節ドラフティングレース」（ドラフティング許可レース）を基本とし、ローカルルールを優先する。

② 周回遅れになった選手は失格となる。失格になった選手は歩道を使用し会場へ戻ること。歩道が無い区間は周囲の状況を確認し競技中の選手との接触が無いようにすること。

③ バイクレギュレーションについて

1) 原則ロードレーサーとする。

2) ハンドルは、ドロップハンドルとする。

3) ドロップハンドルの両先端はエンドプラグを取り付けること。

4) クリップオンバーの装着は認める。但し下記の項目を遵守すること。

・クリップオンバー先端がブレーキレバーの先端を越えないこと。

・クリップオンバー先端は市販の硬質ブリッジで連結すること。

・クリップオンバー先端にブレーキレバー、ギアレバーが付いていないこと。

※エアロバー仕様のハンドルバー及びショートクリップエアロバーは禁止

5) ホイールは 12 本以上のスポークがあること。

※ディスクホイールは禁止。

6) ロングテールのヘルメットは使用禁止とする。

5. 【ラン】

(1) 応援者の並走及び同伴フィニッシュは禁止とする。

(2) 競技中の Bluetooth 等のデバイス、イヤホン、ヘッドセットの使用は禁止とする。

また携帯電話の携帯も禁止とする。

6. 【リレーについて】

(1) スイム担当は他のスタンダード及びスーパースプリントのスタートに従うこと。

但し、バイク及びラン担当は、トランジション入口付近にある待機エリアからスタートする。

(2) スタート時の装着アイテム

種目	装着アイテム	備考
スイム担当	スイム用具一式	バイク担当は左記アイテムを装着し、バイクエリアにてヘルメット、バイクシューズを装着後、バイクスタートする。バイク終了時は、バイクをラックに掛け、ヘルメット、バイクシューズを所定の位置に収めて待機エリアのラン担当と交代する。
バイク担当	靴下、バイクグローブ	
ラン担当	ランニング用具一式	

(3) バトンはアンクルバンド(計測器)を代用する。アンクルバンドは足首に装着する。

7. 【エイドステーション】 *支給物…水

(1) 設置場所

- ①スイム : 2 か所 (スタート前、スイムフィニッシュ付近)
- ②バイク : 設置無し
- ③ラン : 2 か所 (各折返し付近設置予定)
- ④フィニッシュ : 1 か所

※近畿オープン選手権はペットボトルの提供。それ以外の競技は紙コップの提供となる場合もある。

8. 【競技制限時間・関門時間】

	スタンダード 及びリレー	スーパースプリント 及びリレー	スプリント(近畿オープン選手権)	
			男子	女子
スイム関門時間 (上流側のブイ付近) 8:17				
スイム制限時間	8:27	8:42	男子 10:35	女子 11:15
バイク関門時間 (西田折返し地点) 9:57				
バイク制限時間	10:17	9:12	男子 11:05 ※Lap DNF	女子 11:55 ※Lap DNF
ラン制限時間	11:37	9:27	男子 11:25	女子 12:15

- ・制限時間をオーバーした選手はコース上で DNF 宣告され、競技を中止することになる。
- ・ローリングスタート方式のスタンダード・スタンダードリレーにおいては制限時間管理が不可である為フィニッシュ後に確認をし、制限時間を越えている選手は失格となる。

9. 【タイムペナルティ】

(1) 共通タイムペナルティ

ペナルティコード	D	E	S	L	M	V
内容	降車違反	用具格納 違反	スイムでの 違反	用具/ゴミ等 不当投棄	乗車違反	その他の 違反
タイムペナルティ	10 秒					

- ① ペナルティボードに違反した選手のレースナンバーとペナルティコードを掲示する。
- ② ペナルティボードを確認し、該当する選手はペナルティボックスでタイムペナルティを受けること。
※「用具格納違反」については、スプリント競技のみ適応。ただし、スプリント以外のカテゴリについては他者のスペースに注意し、競技アイテムを管理する。トランジションバックの使用は強制ではない。

(2) スタンダード及びリレー、スーパースプリント及びリレー限定タイムペナルティ (失格含む)

- ① ドラフティング違反は 1 回につき 2 分のタイムペナルティを受ける。
- ② 3 回の違反で失格となる。

10. 【競技継続・リタイアについて】

(1) 競技継続及びリタイアの判断

- ① スイム競技中に競技継続が危険と判断した場合は T0（審判員）及びライフセーバーが競技を中止することが出来る。
- ② バイク・ラン競技中に選手が走行不能（立ち止り及び転倒状態等）の場合、T0（審判員）及び大会スタッフにより、道路の左端に移動させることがある。その後、競技継続もしくは中止を審判長、医師の判断により決定する。
- ③ 選手が途中で競技を継続出来ない場合、競技中止を告げられた場合は DNF となる。但し、各リレーについては、原則 DNF とするが、その種目以外の競技続行は認める。

(2) 自主的リタイア

- ① 身体、器具（バイク等）の不調によりリタイアする場合は大会スタッフ又は T0（審判員）に伝え、アンクルバンドを取り外し、大会スタッフ又は T0（審判員）に渡すこと。
- ② リタイアした選手はレースナンバーを取り外すこと。

11. 【抗議】

- (1) 審議委員会は所轄加盟団体理事・主催者代表、および技術代表で構成され、抗議については JTU ルールに準拠する。
- (2) 選手は審判長の裁定や競技環境、他の競技者やスタッフの言動、また自らの違反について、審議委員会に抗議を申し出ることが出来る。
※抗議（異議）申し立ては「速報」の掲示後 30 分以内とする。
※「公式記録」は記録を精査したあと H.P で掲載

12. 【レースウエア】

- (1) ジッパーは背面に設けその長さは 40 cm 以内とする。前面にジッパーを設けてはならない。
やむを得ず前ジッパー付きウエアを着用の場合は、ファスナージッパーを閉じて競技すること。
※特にスーパースプリントリレー参加者はこの限りではない。
※スプリント出場選手は前ジッパー着用禁止とする。
- (2) レースナンバーの装着場所は、バイクは背面、ランは前面とし、レースナンバーの使用枚数は 1 枚以上とする。

13. 【競技変更】

- (1) 悪天候などにより、競技距離を短縮・変更・中止する場合がある。
- (2) 競技変更の場合のスケジュールに付いては事前に大会 H.P を確認のこと。
- (3) 案内は大会ホームページ「お知らせ」及び大会専用「Facebook」、当日「最終受付」の方法で各自情報入手に努めること。そのほかの詳細情報については大会本部掲示板にて告知する

14. 【返金】

- (1) 悪天候などにより、競技距離を短縮・変更・中止する場合があるが、参加費の返金は行わないものとする。但し、キャンセル期間内の参加費返金を行う。